



介護保険を斬る！

上野千鶴子 × 惣万佳代子

～どうなる どうする介護保険～



一昨年1月1日「認知症基本法」が施行され、9月21日を「認知症の日」と決めました。認知症の人と家族の会富山県支部は設立45年を迎えました。「本人も家族も仲間たちも共に楽しむ」ことを大切に富山、高岡、朝日、井波、砺波で毎月10回以上のつどいやカフェを開設して楽しみながら行政には私たちの思いを発信し行動を重ねてきました。

家族介護から社会介護へと声を上げて創設された「公的介護保険」から26年、最悪の改正がされ「特定地域」創設で介護保険からサービスが外されようとしています。「私や家族が認知症になっても安心して暮らす」には何が必要なのでしょう。か、社会学者の上野千鶴子さんの問題点の整理と「このゆびと一まれ」の実践からもの言う惣万佳代子さんの取組み、私たちのこれからの運動について話し合います。自分事として共に考えましょう。ぜひお出かけ下さい。

日 時： 9月19日(土) 午後1時から3時半

会 場： サンフォルテ・2階大ホール *参加費 無料
(富山市湊入船町6-7 TEL076-432-4500 JR富山駅北口徒歩5分)

講 師： 上野千鶴子さん × 惣万佳代子さん

定 員： 280名 (会員：100名 一般：階段席のみ180名)

申し込み： 会員はつどいの折・メールで (先着100名)

* 一般はメール受付・事務局からの返信メール(No101以降入)を持参ください。

メールアドレス：katsuda@po4.nsk.ne.jp

主 催： 公益社団法人認知症の人と家族の会富山県支部

〒930-0001 富山市明輪町1-242-601 TEL・FAX 076-441-8998

研修会は富山県共同募金会の助成金等で開催しています。



9月19日(土) 午後1時から・・サンフォルテ2階大ホール

介護保険を斬る！上野千鶴子×惣万佳代子

～どうなる どうする介護保険～

講師略歴

上野千鶴子(うえのちづこさん)は、日本の社会学者、フェミニスト。1948年富山県生まれ。京都大学大学院修了後、平安女学院短大助教授、京都精華大助教授などを経て、1993年東京大学文学部助教授(社会学)、1995年から2011年3月まで、東京大学大学院人文社会系研究科教授。女性学・ジェンダー研究の第一人者であり、2011年度より2025年度まで認定NPO法人「ウィメンズアクションネットワーク(WAN)」理事長を務める。利用料の原則2割負担への引き上げや、要介護1・2の保険外しなどの改悪案が議論されていることに警鐘を鳴らしています。これらが実行されれば、再び介護が家族の肩にのしかかる「再家族化」が起きると指摘しています。

惣万佳代子(そうまんかよこさん)は、高齢者、障がい児者、乳幼児を垣根なく受け入れる「富山型デイサービス」の生みの親です。その先駆的な看護・福祉活動が評価され、2015年に看護師の最高栄誉である「フローレンス・ナイチンゲール記章」を受章しました。富山赤十字病院で長年看護師を務めた後、1993年に看護師仲間と3人で民営デイケアハウス「このゆびと一まれ」を開設。年齢や障がいの有無に関わらず、誰もが当たり前前に混ざり合って暮らせるノーマライゼーションの理念を実践し、全国のモデルとなる地域共生社会の基盤を築きました。

メールでの申し込み

katsuda@po4.nsk.ne.jp

お名前	受付 No

夜間電話相談： 毎日 午後 8時から11時

TEL 076-441-8998